

豊橋出身の少女漫画家：鈴木研一郎 の原画等資料が寄附されました。

鈴木研一郎（本名：鈴木俊之、平成20年没・67歳）は、手塚治虫の影響を受けて昭和30年～昭和40年代に少女漫画を中心に活躍した漫画家です。集英社の『週刊マーガレット』に代表作の「レモンの年頃」など、多くの作品を発表しています。また、昭和61（1986）年に『宇宙連邦危機いっぱつ』で児童文芸新人賞を受賞しています。

今回、鈴木研一郎の遺族から、図書館へ原画・原稿・写真等の資料が寄附されましたので公表します。



少女漫画原画



少年漫画原画



単行本表紙（左）と原画（右）



赤本漫画



手塚治虫年賀状

【寄附資料】

- ①鈴木研一郎原画・原稿など
- ②鈴木研一郎作品掲載本（赤本、貸本、コミックなど）
- ③手塚治虫等関連本など 合計 686点

【寄附受理日】 令和4年4月23日

【今後の扱い】 図書館資料として収蔵し、展示会等に活用する予定。

ポイント

寄附資料の評価

①鈴木研一郎作品の全容がわかる資料

- ・少女漫画黎明期に中央で活躍した鈴木研一郎の業績は、代表作以外の作品はあまり知られていませんでした。しかし、今回の寄附により、鈴木研一郎が赤本や貸本漫画を中心に230冊以上の本を出していることがわかりました。また、鈴木令子などペンネームを変えて漫画を執筆していることも新たにわかりました。整理が進めば日本の少女漫画歴史の解明の一助となることが期待されます。

②手塚治虫の初期作品資料

- ・手塚治虫にあこがれて漫画界に入った鈴木は、手塚の初期作品（赤本）や鉄腕アトム初版本など約30冊所持していました。これらは、絶版資料であり現在では貴重な資料といえます。また手塚本人とも親交があり、手塚からの年賀状が遺されています。